

# あなたが望むネットコミュニケーション

ねらい

周りの人たちとのコミュニケーションについて、自分自身が望むことと他者が望むことを考えることにより、誰もが過ごしやすいネット社会を築くためのルールやマナーについて考えさせる。

活動内容

2人組で順番に質問  
振り返り  
インタビュー

準備するもの

筆記用具  
振り返りシート  
ワークシート

実施する時間

学級活動  
ホームルーム活動  
国語や社会などの関連する  
教材を扱う授業



指導のポイント

人と接していてうれしいと感じたのはどんな場面だったか、なぜそう感じたかについて思い返させる。  
他の人はどんな時にうれしく思うのかを理解させる。  
掲示板や電子メールなどのネットコミュニケーションも普段のコミュニケーションと同じ心遣いが大切なことを理解させる。

## 指導展開例

学習活動	時間	指導上の留意点
インストラクション 「あなたが望むコミュニケーション」の活動の流れを示す。	2分	活動の趣旨を理解させる。
エクササイズ 質問「あなたは普段どのようなコミュニケーション手段をとっていますか。」を交代で行う。	10分	話しやすい人と2人組をつくる。一人3分ずつ自分のコミュニケーションのとり方について語る。
2人組でお互いに感想を伝え合う。	3分	何を感じたかを振り返らせる。
エクササイズ 質問「今までにいろんな人と接した中で、どんなときにうれしく思いましたか。」を交代で行う。	20分	質問役は10分間、同じ質問を繰り返し投げかける。(反復質問法) 回答役は5W1Hの要領で具体的に答える。
2人組でお互いに感想を伝え合う。	10分	何を感じたかを振り返らせる。
シェアリング 2人組としての感想を発表する。	5分	いくつかのペアにインタビューする。 ネットコミュニケーションでもコミュニケーションのとり方は同じであることを理解させる。

## 指導展開のアレンジ例

1. エクササイズ、における2人組どうしでの振り返りの時間を省略する場合  
シェアリングとして、2人組へのインタビューの後、余った計13分を使って、配付資料1(振り返りシート)「あなたが望むコミュニケーション」を配り、各自に振り返らせてもよい。  
シェアリングは、時間の関係で2人組へのインタビューも省略し、計18分を各自に振り返らせ、何人かにインタビューして感想を述べさせてもよい。
2. 2人組の形態をとらずに教師主導で進める場合  
配付資料2(ワークシート)「ネットコミュニケーションで大切なこと」を配り、コミュニケーション手段の特性についても考えさせる。何人かに発表させる。  
5~6人のグループをつくって話し合わせてもよい。グループごとに発表させる。